

## これまでの成果と現地からの声

貧困

### 村の貯蓄を改革し、**800万人**以上の 経済的自立を支援

1991年にCAREが世界で初めて開発した「村内貯蓄貸付組合」。今日では、世界64か国に拡がり、80万の組合が設立されています。自分の意思で自由に使えるお金を手にすることで、女性の家庭内での発言力が高まっています。

子どもに使うお金を夫に頼む必要がなくなり、子どもを養育する余裕が生まれました。まだ参加していない人にも、大変なためになると伝えたいです。

ラビ・イッサさん(ガーナ)



### ジェンダー平等 ジェンダー平等を促す事例を盛り込んだ 学習雑誌を**10万世帯**に配布

全ての事業で、ジェンダー平等と女性と女子のエンパワメントを進めています。例えば、東ティモールで配布している学習雑誌「ラファエック」。ジェンダー平等を促す事例をわかりやすく掲載するなど工夫をしています。

教室での男女の平等な扱いの事例を示したり、歴史上の女性の役割に焦点を当てるなどの工夫をしています。

シンプリシオ・バーボサ  
(CARE東ティモール事務所)



紛争・  
自然災害

### ウクライナ危機をうけ、**同国とその周辺国ほか** 大分県で**緊急支援活動**を実施

2023年5月時点で、日本に避難したウクライナ避難民の数は2,218人。その内30人が大分県で暮らしていました。ロシア語とウクライナ語に対応するパソコンを提供し、そのうち3人に大学入学支援金を補助しました。

避難生活においては、パソコンは、本国の親戚や友人とのコミュニケーションの手段としてはもちろんのこと、子どもたちにとっては本国の学校のオンライン授業を受けるために必要不可欠なものになっています。

アレクサンドラさん(仮名)  
(大分県別府市)



CAREは、国連をはじめ各種専門機関や  
支援実施国から高い評価と信頼を受けている  
国際協力NGOです

#### ●組織概要 (2024年6月現在)

団体名 公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン  
(CARE International Japan)  
創立年月 1987年5月(2010年に公益財団法人として登記)  
理事長 目賀田 周一郎  
(元メキシコ駐節特命全権大使)

#### ●これまでの受賞歴

第3回「日経ソーシャルイニシアチブ大賞」大賞(2015年)

#### 公益財団法人 ケア・インターナショナル ジャパン

〒171-0031  
東京都豊島区目白2-2-1 目白カルチャービル5階  
Tel: 03-5950-1335 Fax: 03-5950-1375  
Email: info@careintjp.org



ケアインターナショナル

検索

<https://www.careintjp.org>



#### あなたにあった方法で CAREを支援してください

毎月定額のご寄付、特定事業へのご寄付、不用品のご寄付など  
ご自身にあった方法でCAREの活動を  
支援してください。

<https://www.careintjp.org/act/>



ケア・インターナショナル ジャパンへのご寄付は  
寄付金控除の対象です



変える、  
女性も女子も活躍する豊かな世界に

ケア・インターナショナル ジャパン



# 歴史は、 一つの小包から 始まりました



## 第二次大戦後、 米国から欧州に送られた ケア 「CAREパッケージ」



食糧などの緊急支援物資とともに、  
他者を想いやる心が詰まっていました。

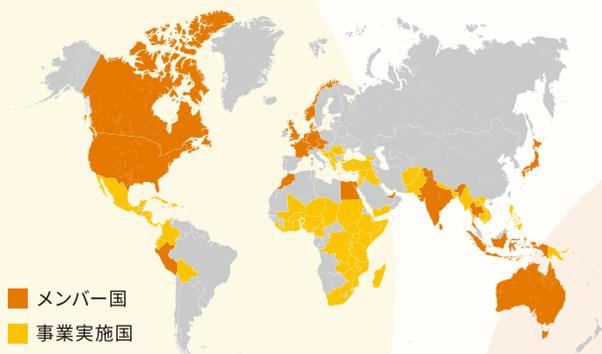
その心は、現代のCAREパッケージにも込められているもの、「箱」にはおさまりません。今は、災害時の緊急・復興支援や開発支援という形で世界中に届けられています。

## 日本にも届いた 「CAREパッケージ(ケア物資)」 1948年から8年にわたり 困窮した1,000万人の日本人を救いました。

1987年、「次は世界に恩返しを」とケア・インターナショナル ジャパンを発足。これまで、延べ78か国において最も困難な状況におかれた人々の自立を支援してきました。



## 18のメンバー国がケア・インターナショナルを構成。 世界100か国以上で活動し、 年間1億7千万人に支援を届けています。



## CAREは、貧困のない、 すべての人々が尊厳をもって安心して 暮らせる世界を目指しています

### CAREは、女性と女子を 活動の中心にすえています。

貧困をなくすためには、女性と女子を含むすべての人々が  
平等な権利や機会を得る必要があるからです。

### 貧困

世界では、およそ10人にひとりが  
1日1.90米ドル未満で生活しています。  
貧困層の7割が女性と子どもです。

女性の経済的なエンパワメントが、生活の  
向上に大きく寄与することから、女性の意  
思決定の場への参画を促し、経済的な自立  
を支援しています。



### ジェンダー平等

女性は、教育、就業や結婚など、様々な  
機会ですら平等に扱われていません。

問題の解決には男性の参画も必要との考え  
のもと、男性も巻き込みつつ、ジェンダー平  
等に取り組んでいます。



### 紛争・自然災害

紛争や自然災害の頻度が高まり、被害  
規模も甚大になっています。

世界中にはりめぐらされたグローバルネッ  
トワークを活かし、瞬時に緊急支援体制を  
確立し、被災者への対応を行っています。  
また、災害時において特に弱い立場におか  
れやすい女性と女子に配慮した支援を行っ  
ています。



ケア・インターナショナル ジャパンは、  
2030年に向けて世界が合意した  
SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて取り組んでいます。

